

## 第2 防熱板の設置について ◆

条例第3章第1節、第2節に定める防熱板の設置については、次のとおりとする。

- 1 断熱性能については、室温 35℃で火気使用器具を使用した場合、不燃材料以外の仕上げ部分の表面温度が 100℃を超えないものとする。
- 2 材料については、第2－1表の他、表中の材料と同等の耐熱製、耐食性及び強度を有する不燃材料とすること。

第2－1表

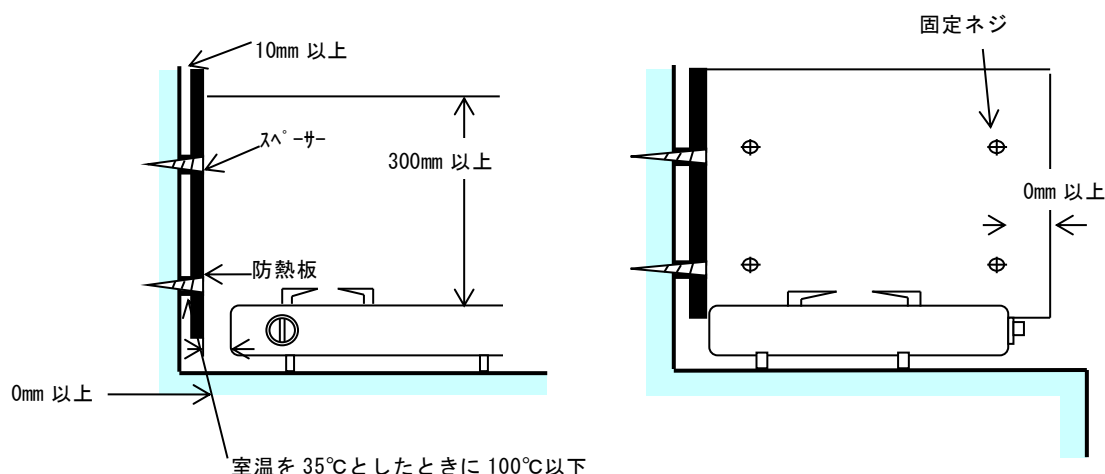
材 質	材 料	板 厚
金属板	ステンレス鋼板	0.3 mm 以上
	鋼 板	0.5 mm 以上
金属板以外	スレート板	3 mm 以上

- 3 断熱性能に影響を及ぼす有害な変形がないように補強して設置すること。
- 4 防熱板の固定ネジは、燃焼等による熱を直接受けけない位置とすること。
- 5 不燃材料以外の仕上げ部分に固定する際に、不燃材料以外の仕上げ部分と防熱板との間に 10 mm 以上の通気空間を設けること。ただし、次の場合については支障ない。
  - (1) 設備の上方に設置する場合（サウナ設備を除く。）
  - (2) 火源が隠ぺいされている設備等の側方に設置する場合

※ この場合の防熱板は、金属以外の不燃材料（板厚 3 mm 以上）とすること。
- 6 通気空間を設けるのに必要なスペーサーは、熱伝導率の小さい金属以外の不燃材料とし、火気使用器具からの熱影響が少ない部分に設置すること。

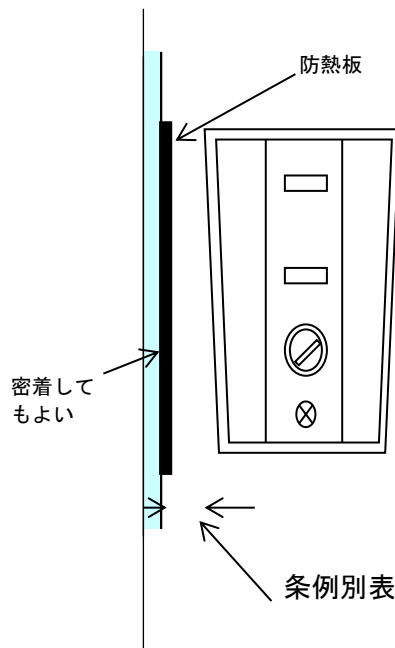
### 防熱板の設置例

#### ① こんろの場合（気体・液体燃料）

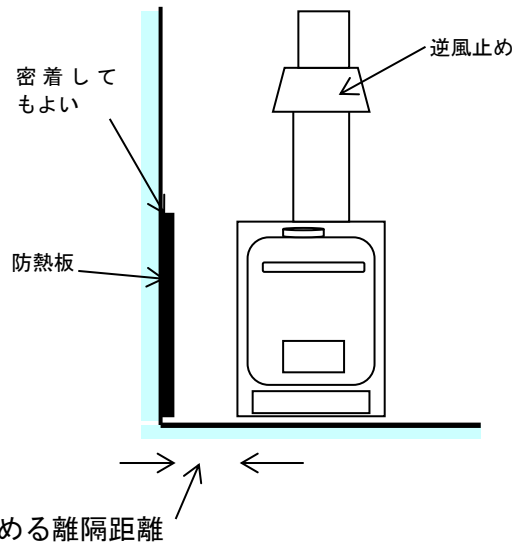


## ② 気体燃料を使用する機器

a 湯沸設備の場合

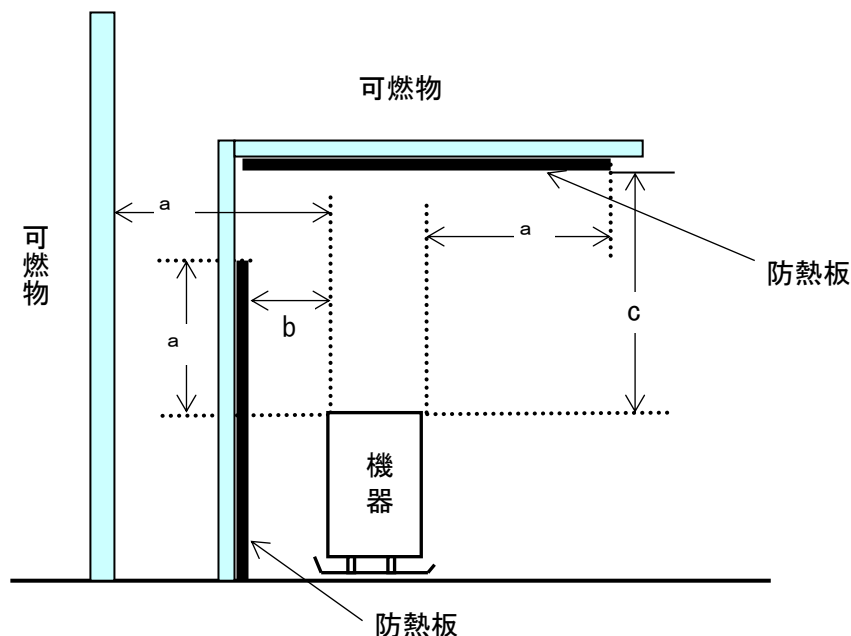


b ふろがまの場合



## ③ 液体燃料を使用する機器

- a 防熱板等の範囲は、燃焼機器の投影面積に条例別表に示す当該機器の側方離隔距離を加えた大きさ以上とすること。ただし、石油こんろの側面上方については機器本体上部より 30 cm以上範囲をとること。
- b 側方又は後方防熱板等への設置方法（上方防熱板等の同時施行を含む。）



- a : 条例別表第3に示す当該機器の側方離隔距離
- b : 条例別表第3に示す防熱板等との離隔距離（側方又は後方）
- c : 条例別表第3に示す防熱板等との離隔距離（上方）

#### ④ 設置上の注意

